

平成 30 年度事業報告について

I. 法人の概要

1. 名称等

公益社団法人日本造園学会

英文表記：Japanese Institute of Landscape Architecture

設立等：大正 14 年 4 月 14 日社団法人日本造園学会設立

平成 24 年 4 月 1 日公益社団法人へ移行

2. 主たる事務所の所在地

東京都渋谷区神南 1 丁目 20 番 11 号

3. 会員

会員種別	員 数		増減(△)数
	本年度末現在 (H31. 3. 31 現在)	前年度末現在 (H30. 3. 31 現在)	
名誉会員	24	23	1
正会員	2,235	2,264	△ 29
準会員	18	15	3
賛助会員	64	64	0
購読会員	112	111	1
計	2,453	2,477	△ 24

4. 会費

正会員 12,000 円，正会員（大学院生）9,000 円，準会員（学部生）3,000 円，
賛助会員 1 口 18,000 円，購読会員 1 口 12,000 円

5. 執行体制

理事の数：20 人（非常勤）

監事の数：3 人（非常勤）

職員の数：4 人（常勤 3 人，非常勤 1 人）

6. 公益目的事業

造園に関する調査研究，出版，講習・研修，専門教育推進・評価，表彰を通じて，造園に関する学術および技術の進歩をはかり社会の発展に貢献する事業

7. 収益事業等

なし

Ⅱ. 事業の状況

1. 調査研究事業

(1) 一般研究

- ・ 研究推進委員会として、生態工学研究推進委員会、ランドスケープ技術連携研究推進委員会、風景計画研究推進委員会、ランドスケープマネジメント研究推進委員会、ランドスケープ教育・国際連携研究推進委員会を組織し、社会的要請に対応するための個別テーマによる研究を推進した。
- ・ これらの成果は、機関誌への掲載（出版事業）や全国大会における研究集会（講習・研修事業）等において公表した。

(2) 特別研究

- ・ 熊本地震復興支援調査委員会を組織し、平成28年4月に発生した熊本地震に関連する情報収集と調査研究活動を行った。また、熊本地震復興支援ニュースレターの発行および学会ホームページにて調査成果の情報発信を行い、調査の内容を広く会員に共有した。
- ・ ランドスケープ遺産インベントリー作成を継続して進め、各支部において関連する情報収集と調査研究活動を行った。

2. 出版事業

(1) 機関誌「ランドスケープ研究」

- ・ 機関誌「ランドスケープ研究」第82巻第1号～第4号を編集、刊行した。
- ・ 記事の内容は、全国大会関連記事、特集企画に加え、各種の連載記事、学会からの連絡事項等とした。
- ・ 特集企画のテーマは、「ランドスケープ研究の潮流と展望 学術知と実践知の融合に向けて」（第82巻第1号）、「ランドスケープからみた熊本地震の復興像 自然と社会の営みの持続的回復をめざして」（第82巻第2号）、「明治150年 生きている近代化遺産としての公園」（第82巻第3号）、「都市における民間緑地の評価と認証」（第82巻第4号）とした。
- ・ 連載記事としては、「生きもの技術ノート」（第82巻1号、2号、3号、4号）「海外の造園動向」（第82巻1号、2号、3号、4号）「造園雑誌アーカイブス」（第82巻3号）「これからのランドスケープの仕事」（第82巻1号、3号、4号）を掲載した。
- ・ 刊行作業では、造園に係わる研究者、実務者から構成される編集委員会を組織し、造園学および技術に係わる各号のテーマや執筆者等を選定した。
- ・ 第83巻第3号までに掲載する特集企画および連載企画内容、執筆者等を検討した。

(2) 同研究発表論文集

- ・ 造園に関する会員の優れた研究論文を掲載した研究発表論文集をランドスケープ研究第82巻第5号として刊行した。研究発表論文集への掲載が決定した論文の第一著者は、全国大会（講習・研修事業）においての発表が義務づけられる。
- ・ 論文集の刊行作業では、造園に係わる研究者から構成される論文集委員会を組織し、規程にしたがって投稿された論文を審査して、学術的水準を評価し、論文集への掲載の可否を決定した。

(3) 同オンライン論文集

- ・ 造園に関する会員の優れた研究論文、短報を科学技術振興機構（JST）が運営する「科学技術情報発信・流通総合システム」（J-STAGE）で、オンライン論文集第11巻を電子ジャーナルとして

刊行し、公開した。

- ・ 論文集の刊行作業では、造園に係わる研究者から構成される論文集委員会を組織し、年 3 回募集を行い、規程にしたがって投稿された論文等を審査して、学術的水準を評価し、論文集への掲載の可否を決定した。

(4) ランドスケープ研究増刊作品選集

- ・ 会員による優れた造園作品に関する報告を掲載した「ランドスケープ研究増刊作品選集 (No. 15) 2020」の刊行準備を行った。
- ・ ランドスケープ研究第 82 巻第 3 号および学会ホームページを通じて「作品選集 2020」に掲載する作品の募集を行った。

(5) ランドスケープ研究増刊技術報告集

- ・ 会員による優れた造園技術に関する報告を掲載した「ランドスケープ研究増刊技術報告集 (No. 10) 2019」を刊行した。
- ・ 刊行作業では、刊行委員会を組織し、応募・投稿された技術報告等の審査を行い、技術報告 21 編、「公共空間における新たな造園技術」に関わる特集テーマ 5 編の合計 26 編を掲載した。

(6) Urban and Regional Planning Review (URPR)

- ・ 都市・地域計画に関する会員の優れた研究論文（英文）を科学技術振興機構（JST）が運営する「科学技術情報発信・流通総合システム」(J-STAGE) で電子ジャーナルとして刊行し、公開した。
- ・ 刊行作業では、都市・地域計画等に係わる研究者から構成される論文集委員会を、日本都市計画学会および日本計画行政学会と連携して組織し、規定にしたがって投稿された論文を審査し、学術的水準を評価し、論文集への掲載の可否を決定した。

(7) Landscape and Ecological Engineering (LEE)

- ・ 国際誌 LEE (Landscape and Ecological Engineering) の国際コンソーシアム (ICLEE) へ参画し、刊行・編集に関わる活動を行った。

(8) その他

- ・ その他、調査研究事業等に係わる出版物等を刊行した。

3. 講習・研修事業

(1) 全国大会

- ・ 平成 30 年度全国大会を、平成 30 年 5 月 25 日（金）～27 日（日）に京都大学吉田キャンパス北部構内（京都市左京区）を主会場として、教育者、研究者、実務者、学生、市民等を広く対象とした公開シンポジウム、企画委員会主催緊急フォーラム、ミニフォーラム、企画委員会主催フォーラム、研究推進委員会フォーラム、研究発表会、受賞者記念講演、ポスター展示等を開催した。3 日間にわたる全国大会の参加者は、総数延 546 名を数えた。
- ・ 5 月 25 日（金）は、京都御苑（閑院宮邸跡、拾翠亭）、南禅寺界限（南禅寺別邸群と琵琶湖疏水ネットワーク、對龍山荘、無鄰菴）、平等院（夜間特別拝観）を対象とした見学会が実施された。また、学生公開デザインコンペ「「庭」の力を生かした京都の再生」の一次審査選考作品 9 組を対象とした二次審査会を開催した。
- ・ 5 月 26 日（土）は、定時社員総会の他に、平成 29 年度日本造園学会賞の発表ならびに表彰式、学生デザインコンペティション表彰式、日本造園学会賞受賞者講演会、公開シンポジウム「庭・

- 道・町の緑を紡ぐ」, 大会企画展示, 学生デザインコンペの作品展示および交流会を開催した。
- ・ 5月27日(日)は, 研究発表会(17セッション・55件), 企画委員会主催緊急フォーラム(1テーマ), ミニフォーラム(9テーマ), 企画委員会主催フォーラム(1テーマ), 研究推進委員会フォーラム(4テーマ), 大会企画展示, 学生デザインコンペの作品展示を開催した。
 - ・ 全国大会の成果は, 機関誌等(出版事業)にも掲載し, 公表した。
 - ・ その他, 2019年度全国大会の企画・運営の準備等を行った。

(2) 支部大会

- ・ 平成30年度支部大会を, 北海道, 東北, 関東, 中部, 関西, 九州の各支部において開催した。広く教育者, 研究者, 実務者, 市民, 学生を対象にした見学会, 公開シンポジウム, フォーラム, 研究発表会, ポスター展示等を実施した。
- ・ 北海道支部大会を, 平成30年10月3日(土)に, 北海道大学農学部(北海道札幌市)にて開催した。研究・事例発表会(口頭発表8件, ポスター発表26件), シンポジウム「積雪寒冷地域の都市公園における屋内遊戯施設の可能性」, 交流会等を開催した。また, 研究・事例発表会では優秀な学生発表に対して表彰を行った。
- ・ 東北支部大会を, 平成30年10月13日(土)~14日(日)に, 福西本店 母屋蔵(福島県会津若松市)にて開催した。「東北の歴史的ランドスケープとまちづくり」~戊辰戦争150周年を迎えた海津の地で考える~を大会テーマとし, 研究・事例発表会(ポスター発表3件), 基調講演, パネルディスカッション, 見学会, 交流会等を開催した。また, 研究・事例発表会では優秀な学生発表に対して表彰を行った。
- ・ 関東支部大会を, 平成30年12月15日(土)~16日(日)に, 宇都宮大学陽東キャンパス(栃木県宇都宮市)にて開催した。事例・研究発表会(口頭発表57件, ポスター発表29件), 学生デザインワークショップサマースタジオ2018「聖火台広場を提案する」の成果発表会, 公開シンポジウム「宇都宮市大谷の景観と地域資源の活用」, 見学会・現地セッション, 交流会等を開催した。また, 研究・事例発表会では優秀な発表に対して表彰を行った。
- ・ 中部支部大会を, 平成30年11月10日(土)~11日(日)に, 岐阜県立国際園芸アカデミー(岐阜県可児市)にて開催した。研究・事例発表会(口頭発表16件, ポスター発表13件), 公開シンポジウム「新しい公園管理運営の課題と展望~ランドスケープの視点から~」, 見学会, 交流会等を実施した。また, 研究・事例発表会では優秀な学生発表に対して表彰を行った。
- ・ 関西支部大会を, 平成30年10月27日(土)~28日(日)に, 奈良県立大学(奈良県奈良市)にて開催した。研究・事例発表会(口頭発表17件, ポスター発表15件), ランドスケープ遺産研究部会による公開研究会「四国におけるランドスケープ遺産 -受け継がれる水の景観から考える-」, 現地見学会, 交流会等を開催した。また, 研究・事例発表会では優秀な発表に対して表彰を行った。
- ・ 九州支部大会を, 平成31年3月22日(土)~23日(日)に, 久留米シティプラザ(福岡県久留米市)にて開催した。「みどりと文化の継承」を大会テーマとし, 研究・事例発表会(口頭発表32件, ポスター発表16件), 公開講演会, 見学会, 交流会等を開催した。

(2) 日中韓国際ランドスケープ専門家会議・国際シンポジウム

- ・ 第16回韓中日ランドスケープ専門家会議・国際シンポジウムを, 韓国造景学会, 中国風景園林学会と共同で, 平成30年10月3日(水)~5日(金)にKBIZ(韓国・ソウル市)で開催した。「都市再生とランドスケープ」をメインテーマとし, 研究発表会, シンポジウム, テクニカルツアー, 3学会長会議等を開催した。

4. 専門教育推進・評価事業

(1) JABEE 認定審査

- ・ 造園関連分野の大学等における実務者養成の支援，促進のための JABEE（日本技術者教育認定機構）の認定審査・認定継続審査の受審，審査申請予定校の支援として，審査員の育成等に関する情報収集および情報提供を行った。

(2) 環境・造園系専門職大学院認証評価

- ・ 環境・造園系実務者の養成機能の維持・向上のために，環境・造園系専門職大学院の受審申請校 1 件（平成 29 年 12 月申請）に対して，認証評価の審査を行った。認証評価結果は，文部科学大臣に報告すると共に当学会ホームページで公表した。
- ・ 専門職大学院設置基準等の一部を改正する省令の施行に伴い，環境・造園系専門職大学院評価基準等の改定を行った。

(3) 造園 CPD 制度(継続教育制度)の運営

- ・ 造園 CPD 制度に関して，会員登録，実施記録登録，実施記録登録証明書の申請，プログラム認定申請等の各種システムの運営，ならびに実施記録登録証明書の発行，認定プログラムの情報提供，各種問い合わせ等を行った。
- ・ 造園 CPD 会員の入退会や会員区分異動の対応，会員証の発行を行い，平成 30 年度末の会員登録者数は 7,292 人となった。
- ・ 平成 30 年度に申請・認定された認定プログラムの総件数は 498 件となった。
- ・ 造園 CPD 登録実施記録審査委員会および造園 CPD 推進委員会登録実施記録審査検討（エビデンス）部会において，登録実施記録証明書の発行申請のあった記録を対象に，記録内容および証拠資料について審査を行った。平成 30 年度では，400 件の審査を行った。
- ・ その他，造園 CPD 制度ホームページ等による広報・普及活動，建設系 CPD 協議会等関連団体との情報収集・交換等を実施した。

5. 表彰事業

(1) 日本造園学会賞・奨励賞・上原敬二賞・田村剛賞

- ・ 造園に関する学術，技術および芸術の進歩をはかるため，造園に関し特に優秀な業績をあげた会員に，研究論文，技術，設計作品の 3 部門からなる「日本造園学会賞」を授与した。また各部門に「奨励賞」を設けて授与した。加えて，造園の分野において著述，教育あるいはその他広範な社会活動を通じて造園の進歩・発展ならびに啓蒙に多大な貢献をしたと認められる者に「上原敬二賞」を授与した。また，自然公園および自然保護分野における研究論文，設計作品において優れた業績をあげ，当該分野の進歩，発展ならびに普及啓発に顕著な貢献をした者，ないしは著作，技術，事業・マネジメントにおいて優れた業績をあげ，当該分野の進歩，発展ならびに啓蒙に顕著な貢献をした者もしくは団体・組織に「田村剛賞」を授与した。
- ・ いずれも識見の高い研究者及び実務者から構成される学会賞選考委員会が，規程にしたがって審査選考を行った。平成 29 年度に審査選考された授賞候補者について，理事会にて審議・決定し，全国大会において表彰した。内訳は，日本造園学会賞は，研究論文部門 1 件，設計作品部門 3 件，技術部門 1 件，事業マネジメント部門 1 件，著作部門 3 件，同奨励賞は研究論文部門 9 件，設計作品部門 2 件，著作部門 1 件，上原敬二賞 3 件，田村剛賞 3 件であった。また，平成 30 年度表彰の各賞の選考審査を行った。

(2) その他

- ・ 若手研究者の支援と学術研究活動の活性化を図るために、全国大会における「学生公開デザインコンペティション」、「全国大会ベストペーパー賞」、支部における各種表彰等を実施した。特定の課題に対する計画・設計作品、論文・発表等について、識見の高い専門家から構成される審査委員会を設けて審査する形式をとった。

6. その他

- ・ 公益法人としての運営の適正化を図るために、事務局機能の強化、各種規程・規則の改定および整備等に努めた。
- ・ 学会の公益事業に関する情報の発信や会員サービスの向上等に資するために、会員情報システムを導入し、学会ホームページの運用の改善を図った。

Ⅲ. 役員等に関する事項

1. 役員

役名	氏名	就任年月日	担当職務	手当	職名 (H31.3.31 現在)
理事・会長	横張 真	H.13. 5.26	総括	無	東京大学大学院工学系研究科教授
理事・副会長	柴田 昌三	H.17. 5.14	支部・専門職	無	京都大学大学院地球環境学堂教授
理事・副会長	金子 忠一	H.19. 5.19	学会賞・校閲 ・専門職	無	東京農業大学地域環境科学部教授
理事	柳井 重人	H.21. 5.23	総務	無	千葉大学大学院園芸学研究科准教授
理事	深町加津枝	H.17. 5.14	企画・支部	無	京都大学大学院地球環境学堂准教授
理事	小野 良平	H.19. 5.19	学術	無	立教大学観光学部教授
理事	篠沢 健太	H.27. 5.23	編集・校閲 ・作品選集	無	工学院大学建築学部まちづくり学科教授
理事	大黒 俊哉	H.21. 5.23	国際	無	東京大学大学院農業生命科学研究科教授
理事	加我 宏之	H.27. 5.23	論文集・校閲	無	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科教授
理事	荻野 淳司	H.27. 5.23	財務	無	アゴラ造園株式会社代表取締役社長
理事	三島 孔明	H.29. 5.20	CPD・JABEE	無	千葉大学大学院園芸学研究科准教授
理事	古澤 達也*	H.29. 5.20	編集・学会賞 ・専門職	無	国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室長
理事	奥田 直久*	H.29. 5.20	企画・専門職	無	環境省自然環境局自然環境計画課長
理事	細川 卓巳	H.27. 5.23	技術報告集 ・国際	無	東京都建設局東部公園緑地事務所所長
理事	小林 新	H.29.5.20	作品選集 ・技術報告集	無	(株)東京ランドスケープ研究所代表取締役社長
理事	近藤 哲也	H.29. 5.20	支部	無	北海道大学大学院農学研究科教授
理事	秋田 典子	H.29. 5.20	編集	無	千葉大学大学院園芸学研究科准教授
理事	雨宮 直子	H.29. 5.20	学術・熊本地震 復興支援調査	無	九州大学大学院 芸術工学研究院准教授
理事	渡辺 貴史	H.29. 5.20	論文集・校閲	無	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科教授
理事	斉藤 庸平	H.17. 5.14	総務・JABEE ・CPD	無	公益社団法人日本造園学会事務局長
監事	金岡 省吾	H.21. 5.23	監査	無	富山大学地域連携推進機構教授
監事	加藤 友規	H.25. 5.25	監査	無	京都造形芸術大学大学院芸術研究科教授 ／植彌加藤造園株式会社代表取締役社長
監事	高橋 新平	H.27. 5.23	監査	無	東京農業大学地域環境科学部教授

※理事の就任年月日は新任の際の就任年月日である。

※表中*印は「公益法人の設置許可及び指導監督基準」および「同運用指針」に該当する国家公務員出身者である。

2. 支部長

支 部	役名	氏 名	就 任 年月日	職 名 (H31. 3. 31 現在)
北海道	支部長	近藤 哲也	H.29. 4. 1	北海道大学大学院農学研究院教授
東 北	支部長	岡本 一郎	H.30. 4. 1	仙台市建設局百年の杜推進部長
関 東	支部長	阿部 伸太	H.30. 4. 1	東京農業大学地域環境科学部准教授
関 西	支部長	柴田 昌三	H.30. 4. 1	京都大学大学院地球環境学学術教授
中 部	支部長	小池 敦夫	H.29.4. 1	公益財団法人名古屋のみどりの協会常務理事
九 州	支部長	包清 博之	H.28.4.1	九州大学大学院芸術工学研究院教授

3. 幹事

役名	氏 名	就 任 年月日	担当職務	職 名 (H31.3.31 現在)
幹 事	横田 樹広*	H.25. 7. 6	総 務	東京都市大学環境学部准教授
幹 事	大久保 悟*	H.19. 6.30	総 務	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構農業環境変動研究センター 上級研究員
幹 事	高山 範理*	H.23. 6.18	企 画	国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所主任研究員
幹 事	寺田 徹*	H.29. 6.17	学 術	東京大学大学院新領域創成科学研究科講師
幹 事	武田 重昭*	H.25. 7. 6	論文集・校閲・熊本地震復興	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科准教授
幹 事	土屋 一彬*	H.29. 6.17	編 集	東京大学大学院農学生命科学研究科助教
幹 事	飯田 晶子*	H.27. 6.27	国 際	東京大学大学院工学系研究科特任講師
幹 事	伊藤 弘*	H.15. 7.12	学会賞	筑波大学芸術系准教授
幹 事	水内 佑輔	H.30. 6.30	論文集 (オンライン)	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林助教
幹 事	岸 孝*	H.28. 6.25	作品選集	株式会社プレイスメディア
幹 事	菊池佐智子*	H.25. 7. 6	技術報告集	公益財団法人都市緑化機構企画調査部研究員
幹 事	荒井 歩	H.11. 7.10	JABEE	東京農業大学地域環境科学部准教授
幹 事	斉藤 庸平	H.17. 5.14	CPD 推進	公益社団法人日本造園学会事務局長
幹 事	岡田 準人	H.29. 6.17	CPD プログラム認定	大阪産業大学デザイン工学部講師
幹 事	黒田 貴綱	H.29. 6.17	CPD プログラム認定	日本大学生物資源科学部富士自然教育センター
幹 事	水庭千鶴子	H.15. 7.12	CPD 登録記録審査	東京農業大学地域環境科学部教授
幹 事	霜田 亮祐	H.29. 6.17	CPD 登録記録審査	千葉大学大学院園芸学研究科准教授

※表中*印は総務委員会委員兼務。

4. 職員

職 務	氏 名	就 任 年月日	担当 職務	備 考
事務局長	齊藤 庸平	H. 28. 5. 1	事 務	非常勤
事務職員	芹田 留美	H. 7. 4. 1	事 務	常 勤
事務職員	久住 悦子	H. 21. 10. 1	事 務	常 勤
事務職員	高橋 啓太	H. 29. 4. 1	事 務	常 勤